

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	11100 営業費用(原水浄水費、配水及び給水費、総係費、減価償却費他)	担当課	水道環境部 水道課	内線	2254
予算	会計	16 水道事業会計	政策	3 「すみよき」のあるまちをめざして	
	款	1 水道事業費用	分野	5 上・下水道	
	項	1 営業費用	基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する	
	目		施策	3 経営の安定	
実施計画事業	水道施設等管理事業、水道施設維持修繕・改修事業				
市長の約束	6 市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	・取水から配水池までの管理は指定管理者が実施し、配水管以降は市が管理する ・予防的な修繕等の実施により、施設の延命化を図り、経費の縮減を目指す		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績				
			H21	H22	H23見込	H24計画	
活動指標	① 水道普及率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	99	99	99	-
	算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口	達成率(%)	99	99	99	-
	算出根拠等		達成率(%)				
成果面	②		目標値				
			実績値				-
	算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標	① 給水人口	人	目標値	74,660	74,660	77,550
実績値				71,915	71,599	76,424	-
算出根拠等		現在給水人口	達成率(%)	96	96	99	-
算出根拠等			達成率(%)				
コスト面	② 料金徴収率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	99	99	99	-
	算出根拠等	徴収額/調定額	達成率(%)	99	99	99	-
	算出根拠等		達成率(%)				
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)(A)		746,237	786,076	955,364	235,400	
	受益者負担(使用料・負担金等)		746,237	786,076	955,364	235,400	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト指標	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり	(A/B)	10,377	10,979	12,501	2,954	
		受益者 給水人口 (B)	71,915	71,599	76,424	79,700	
	② 給水原価(円/m ³)		112	115	131	131	
算出根拠等	(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費))/年間総有収水量						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・安全安心な上水道を提供するためには、水道事業の経営安定が重要である
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・安全安心な上水道ということについては、市民ニーズは安定的に必要性が認められる
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・水道利用者全員に事業効果が及ぶ
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・指定管理者制度による施設管理は順調に推移しており、高い水準での管理ができています
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・安全安心な上水道の供給のため、指定管理者と協働し、日々の業務を遂行している
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・経営安定のため、経費の削減に努めるとともに、水道料金の徴収率向上に努める必要がある
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・料金徴収業務等の外部委託化に向けた検討を行っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・給水原価(水の生産原価)は同規模事業体の全国平均を下回っており適正である
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・投入コストに見合った成果が上っている ただし、給水原価は水源によりバラつきがある
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・市民生活に欠かすことのできない安心・安全な上水道の供給のため、施設修繕による延命化を図る ・水道料金の収納率向上により、歳入を確保する				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・水道使用者の不公平感を招かないためにも、未納対策は徹底して行う必要がある。 ・料金賦課及び徴収業務の委託化について検討する必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	955,364	1,031,562	76,198	938,463	938,463
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	955,364	1,031,562	76,198	938,463	938,463
一般財源					

予算要求の概要	安全安心な水を安定して供給するための施設修繕・維持管理の実施 浄水場、配水池等の維持修繕 検針、工事当番店、量水器取替、漏水調査、水質検査等委託 指定管理者制度による施設管理
要求額増減理由	排水不良消火栓等の修繕箇所の増 浄水場等施設修繕費の増 泥土処理手数料の増
事業実施の課題	老朽化施設・設備が増加しているため、修繕による延命化を図り更新費用を最小限に抑える必要がある 事業実施のための財源である水道使用料の徴収率向上

財務部査定の考え方	・実績等に基づき積算内容を精査 ・緊急性の低い施設修繕を見送り
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	12100	事業費	16	水道事業会計	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
事業名	12100	事業費	16	水道事業会計	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
予算	会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして		
	款	1	水道事業費用	分野	5	上・下水道		
	項	2	営業外費用	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する		
	目	1	支払利息及び企業債取扱諸費	施策	3	経営の安定		
実施計画事業								
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります 安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	企業債にかかる利息の償還		
概要	事業の実施手法(手段)			
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
活動指標	①	算出根拠等	目標値					
			実績値					
活動指標	②	算出根拠等	達成率(%)					
			目標値					
活動指標	②	算出根拠等	実績値				-	
			達成率(%)				-	
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
成果指標	①	算出根拠等	目標値					
			実績値					
成果指標	②	算出根拠等	達成率(%)					
			目標値					
成果指標	②	算出根拠等	実績値					
			達成率(%)					
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円) (A)			119,009	111,694	118,976	-	
	受益者負担(使用料・負担金等)			119,009	111,694	118,976		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
	一般財源							
コスト面	①	指標名	単位	目標・実績				
				H21	H22	H23見込	H24計画	
				(A/B)				
				(B)				
コスト面	②	算出根拠等	目標値					
			実績値					

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく		
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している		
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ		
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)		
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である		
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている		
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている		
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である		
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である		
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算	/ 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	118,976	110,875	△ 8,101	110,875	110,875
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	118,976	110,875	△ 8,101	110,875	110,875
一般財源					

予算要求の概要	企業債にかかる利息の償還
要求額増減理由	
事業実施の課題	借入額の抑制、繰上償還の実施等による地方債残高の縮減及び高金利負担の軽減

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	12200	営業外費用(繰延勘定償却、消費税、雑支出)	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
款	1	水道事業費用	分野	5	上・下水道	
項	2	営業外費用	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する	
目		繰延勘定償却、消費税、雑支出	施策	3	経営の安定	
実施計画事業						
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります 安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 繰延勘定償却 消費税の支出 雑支出		
概要	事業の実施手法(手段)		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21	H22	H23	H24
	歳出(千円)(A)				決算額	決算額	予算額	実施計画額
					46,450	39,375	33,348	-
	受益者負担(使用料・負担金等)				46,450	39,375	33,348	
コスト指標	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
	一般財源							
	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	(A/B)						
②	(B)							
	算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく		
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している		
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ		
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)		
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である		
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている		
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている		
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である		
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である		
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算	/ 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部査定額	市長査定額
歳出(千円)	33,348	9,948	△ 23,400	24,348	24,348
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	33,348	9,948	△ 23,400	24,348	24,348
一般財源					

予算要求の概要	開発費償却 消費税
要求額増減理由	
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21100	原水及び浄水施設費	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
款	1	資本的支出	分野	5	上・下水道	
項	1	建設改良費	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する	
目	1	原水及び浄水施設費	施策	2	給水施設の整備	
実施計画事業	丹生川ダム建設事業、配水池耐震化整備事業、宮水源紫外線処理施設整備事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) ・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段) ・原水の取水設備、浄水設備の整備を行う ・岐阜県が建設する丹生川ダムの水を利用するため、建設に伴う負担金を支出する ・配水池、ポンプ場等の耐震化整備を行う ・高度浄水施設整備として、宮水源に紫外線処理施設を整備する		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 水道普及率	%	目標値	100	100	100	100
算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口	達成率(%)	99	99	99	-	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 配水池耐震化工事箇所数	箇所	目標値	0	0	0	1
算出根拠等		達成率(%)	0	0	0	-	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 給水人口	人	目標値	74,660	74,660	77,550	77,550
算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	71,915	71,599	76,424	-	
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 水道施設耐震化率	%	目標値	100	100	100	100
算出根拠等		達成率(%)	72	72	79	-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)	48,001	14,780	31,293	78,700		
	受益者負担(使用料・負担金等)	48,001	14,780	31,293	78,700		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト面	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1件当たり	(A/B)	667	206	409	987	
	受益者 給水人口	(B)	71,915	71,599	76,424	79,700	
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・安全安心な上水道を提供するためには、施設整備が重要である
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・安全安心な上水道ということについては、市民ニーズは安定的に必要性が認められる
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・水道利用者全員に事業効果が及ぶ
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・総合計画に基づき、浄水施設の整備を進めている
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・安全安心な上水道を提供するためには、施設整備が重要である
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・老朽化している施設については、指定管理者と協議の上、資本的修繕の優先順位を決定している
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・施設整備にあたっては、工事費の削減が図られるよう、また、完成後の維持管理費が安価となるよう検討を行っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・安心安全な上水道を提供するために投入したコストに見合った成果があがっている
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・投入コストに見合った成果が上っている ・指定管理者制度導入後も、施設整備は市が行うべき業務である
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算	65 / 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・市民生活に欠かすことのできない安心・安全な上水道の供給のための浄水施設整備を着実に進める				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・企業会計の独立採算性の原則に基づき、長期的視点にたった財政推計、受益と負担のバランス、最小費用で最大効果をもたらす手法の選択などに最大限配慮したうえで、施設の整備・更新を行う必要がある。 ・外国資本などによる森林売買が社会的問題となっており、水源の安定的利用を妨げられないよう保全に努める必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	31,293	85,725	54,432	34,766	34,766
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	31,293	85,725	54,432	34,766	34,766
一般財源					

予算要求の概要	安全安心な水を安定して供給するための浄水施設整備の実施 浄水方式変更に伴う認可設計委託 浄水施設の耐震調査・耐震設計委託 老朽化した浄水施設・機器の更新
要求額増減理由	浄水方式変更に伴う認可設計の実施に伴う増 浄水施設の耐震調査・耐震設計の実施に伴う増 浄水施設・機器更新工事の増
事業実施の課題	施設整備を必要とする箇所数が多いため、財政推計との整合性を図りつつ、施設整備を推進する必要がある

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・財政計画に基づき、必要性・緊急性の高い施設整備を実施
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21200	配水施設拡張費	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよき」のあるまちをめざして	
款	1	資本的支出	分野	5	上・下水道	
項	1	建設改良費	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する	
目	2	配水施設拡張費	施策	2	給水施設の整備	
実施計画事業	配水管拡張整備事業、錦山配水区域等再編事業、水道未普及解消事業、上野地区配水施設整備事業、水道統合整備事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります 安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) ・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段) ・配水施設の拡張整備を行う ・錦山配水区域等再編、上野地区配水施設整備等、配水施設の拡張を伴う整備を実施する ・水道未給水地域解消のための助成制度に基づき、配水管整備を実施する		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 管路整備延長		m	目標値	2,066	4,480	7,060
実績値				1,202	2,725	5,220	-
算出根拠等	現在給水人口		達成率(%)	58	61	74	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 給水人口	人	目標値	74,660	74,660	77,550	77,550
実績値			71,915	71,599	76,424	-	
算出根拠等	現在給水人口		達成率(%)	96	96	99	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 水道普及率	%	目標値	100	100	100	100
実績値			99	99	99	-	
算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口		達成率(%)	99	99	99	-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)	40,039	59,271	305,637	675,000		
	受益者負担(使用料・負担金等)	40,039	59,271	305,637	545,000		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				130,000		
	一般財源						
コスト指標	指標名	H21	H22	H23見込	H24計画		
	① 受益者1件当たり	(A/B)	557	828	3,999	8,469	
	受益者	給水人口	(B)	71,915	71,599	76,424	79,700
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・安全安心な上水道を提供するためには、施設整備が重要である ・未給水地域解消のための助成制度を設けている
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・安全安心な上水道ということについては、市民ニーズは安定的に必要性が認められる ・未給水地域解消のための助成制度については、市民ニーズがある
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・水道利用者全員に事業効果が及ぶ
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・総合計画に基づき、配水施設の整備を進めている
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・安全安心な上水道を提供するためには、施設整備が重要である
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・未給水地域解消のため、助成制度をより利用しやすい形とするよう検討を行っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・施設整備にあたっては、工事費の削減が図られるよう、また、完成後の維持管理費が安価となるよう検討を行っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・安心安全な上水道を提供するために投入したコストに見合った成果があがっている
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・投入コストに見合った成果が上っている
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算 → 65 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・市民生活に欠かすことのできない安心・安全な上水道の供給のため、配水施設整備を着実に進める				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・企業会計の独立採算性の原則に基づき、長期的視点にたった財政推計、受益と負担のバランス、最小費用で最大効果をもたらす手法の選択などに最大限配慮したうえで、施設の整備・更新を行う必要がある。 ・未給水区域の解消を図っていく必要があるが、助成の条件等を十分検討し、給水後の財政負担のリスク最小化に努める必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	305,637	763,893	458,256	530,670	530,670
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債		273,000	273,000	0	0
その他	305,637	490,893	185,256	530,670	530,670
一般財源					

予算要求の概要	安全安心な水を安定して供給するための配水施設整備の実施 錦山配水区域等再編事業に伴う配水池・配水機場の整備 未給水地区解消のための配水管布設
要求額増減理由	錦山配水区域等再編事業の増
事業実施の課題	施設整備を必要とする箇所数が多いため、財政推計との整合性を図りつつ、施設整備を推進する必要がある

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・錦山配水区域等再編事業は、H24の事業完了が困難であるため、継続費によりH24-25の2か年で予算化
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21300	施設改良費	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
予算	会計	16 水道事業会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1 資本的支出		分野	5 上・下水道	
	項	1 建設改良費		基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する	
	目	3 施設改良費		施策	2 給水施設の整備	
実施計画事業	配水管布設替事業、送水管布設替事業、老朽管対策整備事業					
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) ・安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段) ・配水施設の改良整備を行う ・送水管布設替事業(城山～坂口)等、送水管、配水管等の施設改良整備を実施する		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 管路改良延長		m	目標値	4,061	2,900	2,050
実績値				4,736	2,888	3,490	-
算出根拠等	現在給水人口		達成率(%)	117	100	170	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 給水人口	人	目標値	74,660	74,660	77,550	77,550
実績値			71,915	71,599	76,424	-	
算出根拠等	現在給水人口		達成率(%)	96	96	99	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② 水道普及率	%	目標値	100	100	100	100
実績値			99	99	99	-	
算出根拠等	現在給水人口/行政区内人口		達成率(%)	99	99	99	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)			104,823	256,043	287,561	283,000
	受益者負担(使用料・負担金等)			74,823	226,043	287,561	283,000
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			30,000	30,000	0	
	一般財源						
コスト指標	指標名	単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり	(A/B)	1,458	3,576	3,763	3,551	
			受益者	71,915	71,599	76,424	79,700
	②						
算出根拠等							

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・安全安心な上水道を提供するためには、施設改良が重要である
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	B	・安全安心な上水道ということについては、市民ニーズは安定的に必要性が認められる
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・水道利用者全員に事業効果が及ぶ
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・総合計画に基づき、配水施設等の改良を進めている
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・安全安心な上水道を提供するためには、施設改良が重要である
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・老朽化した施設の改良にあたっては、優先順位を定めて進めている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト縮減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・施設改良にあたっては、工事費の削減が図られるよう、また、完成後の維持管理費が安価となるよう検討を行っている
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・安心安全な上水道を提供するために投入したコストに見合った成果があがっている
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・投入コストに見合った成果が上っている
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	13.0 / 20.0	100点換算 → 65 / 100	

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・市民生活に欠かすことのできない安心・安全な上水道の供給のため、施設改良を着実に進める				

総合評価 (二次評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・企業会計の独立採算性の原則に基づき、長期的視点にたった財政推計、受益と負担のバランス、最小費用で最大効果をもたらす手法の選択などに最大限配慮したうえで、施設の整備・更新を行う必要がある。				

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	287,561	316,157	28,596	268,147	268,147
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債				100,000	100,000
その他	287,561	316,157	28,596	168,147	168,147
一般財源					

予算要求の概要	安全安心な水を安定して供給するための配水施設等改良の実施 坂口～城山間基幹管路耐震化 道路改良に伴う布設替 老朽管布設替 下水道工事に伴う布設替
要求額増減理由	道路改良工事に伴う布設替工事の増 下水道関連工事に伴う布設替工事の増 配水管老朽化に伴う布設替工事の増
事業実施の課題	施設整備を必要とする箇所数が多いため、財政推計との整合性を図りつつ、施設改良を推進する必要がある

財務部査定の考え方	・積算内容を精査 ・道路改良関連工事等の減
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	21400	営業設備費、 有形固定資産購入費	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
款	1	資本的支出	分野	5	上・下水道	
項	1	建設改良費	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する	
目		営業設備費、有形固定資産購入費	施策	2	給水施設の整備	
実施計画事業						
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります 安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 有形固定資産の購入等		
概要	事業の実施手法(手段)		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	m	目標値				
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	人	目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等	%	目標値				-
				実績値				-
				達成率(%)				-
コスト内訳	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				2,838	2,265	22,100	-
	受益者負担(使用料・負担金等)				2,838	2,265	22,100	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
	一般財源							
コスト指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
			(A/B)					
		受益者	(B)					
		算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく		
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している		
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ		
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)		
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である		
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている		
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている		
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である		
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である		
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算	/ 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
議会からの提言等					

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	22,100	18,461	△ 3,639	4,000	4,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	22,100	18,461	△ 3,639	4,000	4,000
一般財源					

予算要求の概要	新規開栓及び再開栓による量水器の庫出
要求額増減理由	
事業実施の課題	

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業名	23100	企業債償還金	担当課	水道環境部 上水道課	内線	2254
会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	
款	1	資本的支出	分野	5	上・下水道	
項	3	企業債償還金	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する	
目	1	企業債償還金	施策	2	給水施設の整備	
実施計画事業						
市長の約束	6	市民の生活と生命・財産を守ります 安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

1 事業の目的・概要(Plan)

誰を(対象)	上水道利用者全員	受益者数	76,424 人
目的	どのような状態にしたいのか(意図) 企業債にかかる元金の償還		
概要	事業の実施手法(手段)		
前回の評価からの改善・改革のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等			m	目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等				目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等			人	目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
成果指標	②	指標名	単位	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
算出根拠等			%	目標値			
				実績値			-
				達成率(%)			-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21	H22	H23	H24
	決算額			決算額	決算額	予算額	実施計画額
	歳出(千円)(A)			269,566	240,286	258,209	-
	受益者負担(使用料・負担金等)			269,230	130,455		
その他特定財源(国・県支出金・起債等)			336	109,831	258,209		
一般財源							
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
				(A/B)			
	① 受益者			(B)			
	② 算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく		
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している		
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ		
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)		
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である		
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている		
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている		
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である		
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である		
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	0.0 / 0.0	100点換算	/ 100

4 今後の方向性(Action1)

次年度の 実施方針 (担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

総合評価 (二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの 提言等	
--------------	--

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 査定額	市長 査定額
歳出(千円)	258,209	255,558	△ 2,651	255,558	255,558
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他	258,209	255,558	△ 2,651	255,558	255,558
一般財源					

予算要求の概要	企業債にかかる元金の償還
要求額増減理由	
事業実施の課題	借入額の抑制、繰上償還の実施等による地方債残高の縮減及び高金利負担の軽減

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり